

社会資本総合整備計画書

宮城県内における都市の発展を港湾へのアクセス強化により支える社会資本整備

【事後評価】

宮 城 県

平成 28 年 3月

社会資本総合整備計画（道路事業） 事後評価書

平成28年3月1日

計画の名称	21 宮城県内における都市の発展を港湾へのアクセス強化により支える社会資本整備		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	宮城県、石巻市
計画の目標			

・宮城県内の港湾へのアクセス強化により都市の発展を支援する社会資本整備を行う。

計画の成果目標（定量的指標）

・港湾へのアクセス時間短縮を図る。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
0.0%	7.4%	23.3%	

① 港湾へのアクセス時間短縮率（%）
 港湾へのアクセス時間短縮率 = Σ （事業前移動必要時間－事業後移動必要時間） / Σ 事業前移動必要時間

全体事業費	合計 (A+B+C)	4,230百万円	A	3,854百万円	B	0百万円	C	376百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	8.9%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	--------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
宮城県事業担当課において、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証した。	平成28年3月
	公表の方法
	宮城県のホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

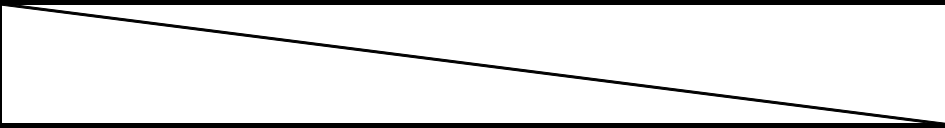
交付対象事業

A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
21-A1	街路	一般	県	直接	県	S街路	改築	八幡築港線	改築 L=1.3km	多賀城市、塩竈市						467	
21-A2	街路	一般	県	直接	県	S街路	改築	清水沢多賀城線	改築 L=0.1km	多賀城市						505	
21-A101	街路	一般	石巻市	直接	石巻市	S街路	改築	石巻工業港曾波神線	改築 L=0.6km	石巻市						2,882	
小計（道路事業）											3,854						
A2 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
小計（港湾事業）																	
合計																	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
21-C1	区画整理	一般	県	直接	—	区画整理	宅地整備	区画整理	仙台市、多賀城市						376	
合計														376		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
21-C1	(都)清水沢多賀城線の整備に合わせて一体的に面的基盤整備を促進することで物流拠点と道路のアクセス強化が図られる。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				東日本大震災により、一時事業執行に遅れが生じたものの、最終的には3路線の整備完了を図り、港湾へのアクセス時間の短縮が可能となった。									
II 定量的指標の達成状況		指標①港湾への アクセス時間の 短縮（短縮 率%）	最終目標値	23.30%	目標値と実績値 に差が出た要因								
			最終実績値	23.30%									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				道路の改築により、都市内交通の渋滞緩和及び歩道も合わせて整備されたことから、歩行者の安全性の向上が図られた。また、効果促進事業により、公共施設の基盤整備や土地の区画形質の変更が計画的に進められ、事業開始時点(平成3年)の市街化率約13%が、平成26年9月末には約85%となるなど、土地利用が進み賑わいのある街づくりが実現した。									
3. 特記事項（今後の方針等）													
<p>今後は、適切な道路の維持管理に努め、良好な交通環境を保ち、都市の発展を支える。</p>													

計画の名称	21 宮城県内における都市の発展を港湾へのアクセス強化により支える社会資本整備	1 県1市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象 宮城県、石巻市

